

若松活性化アクション！ *Action!* 若者定着 × 地域のにぎわい創出

若松区と企業が連携したまちづくりで包括連携協定 **若松Challenge**



目的

活動を通じ同じ目的を持った多様な法人・個人とコミュニケーションを深め、楽しく交流ができる場とするとともに、若松の経済や歴史等について知識を深めながら、**地域振興事業**や**イベント**などに**支援・協賛**し**若松の発展・賑わい作り**に貢献することを目的とする。



「若松あつまる会」 名称の由来



若松に多くの人が集まり（あつまる）

まち全体が熱く（あつ）盛り上がり一体化し

一つの大きな丸（まる）となり楽しく活動する団体

となる様に！

会員数

名誉会員 18名
一般会員 131名

合計149名

(2025年5月15日現在)

※2022年8月発足 9月 20名

2025年 4月
若手の会 「わかっぱ会」
発足



■ 主な活動内容

- 高校生による地元企業見学
- 若松あじさい祭り
- くきのうみ花火の祭典
- 若松鉄人ジャズ
- 五平太保存会
- 若松高校 ※自転車ヘルメット努力義務化モデル校
- 若松みなと祭り
- 外国人技能実習生の居住に関する取組
- 響灘地区 通勤時間帯の渋滞緩和、昼食場所の確保
- 若松北海岸観光化に向けた取組

地元高校生による企業見学ツアー

市

若者の市外への流出

企業

人手不足

高校

地元企業について
あまり知らない

地元高校生による企業見学ツアー

- ・ シビックプライドの醸成
- ・ 若者の地元就職・定住
- ・ 地元企業の人材確保



■勉強会の実施

1) 「北九州学術研究都市：地域企業の挑戦を支えるイノベーションの拠点」

講師：公益財団法人北九州産業学術推進機構 専務理事 江副春之様

2) 「北九州市立大学国際環境工学部の目指す地域の人材流動のハブ機能について」

講師：北九州市立大学 国際環境工学部 学部長 中武繁寿様

3) 「ゼロエミッションeパークからの発信」

講師 株式会社EVモーターズ・ジャパン 取締役副社長/CFO 角 英信

4) 「若松の歴史について」

講師 旧古河鉱業ビル 若宮館長

5) 武内北九州市長 講話

6) 奥野若松区長 講話

7) 若築資料館見学



令和5年8月
セミナー（市長講演）



近藤相談役によるエール
(若松を盛り上げていこう)

■ 包括連携協定の意義

地域の持続的発展と住民満足に寄与する重要な取組

■ 若者の人材育成・次世代定着

- ・シビックプライドの醸成
- ・若者の地元就職、定住
- ・地元企業の人材確保

■ 地域課題の解決

- ・地域の課題やニーズを的確に把握し区と情報共有 ▶ 迅速かつ効果的な対応が可能

■ 住民参加の促進

- ・企業が地域に溶け込み、住民の意見や声を反映 ▶ 住民参加型のまちづくりが促進

■ 情報共有と資源の有効活用

- ・区の情報や企業の資源（人材等）を共有 ▶ イベント、防災活動 地域活動の効率化、充実化

■ 地域の絆とコミュニティの強化

- ・地域と企業のつながりや絆深まる ▶ 安心して暮らせるまちづくり



若松をこれまで以上に盛り上げ、若松への
熱い想いを次世代へ継承していきます。

